

WILCOMM

<<ダウンロード版>>

WilComm PTF 適用手順書 **Ver.7.15 & Ver.7.15 SP2 For iSeries**

PTF004 (Last Update : 2007/10/05)

WilComm AS400 V7.15

© Copyright 2007, 2008
K. I. S. S. Inc.



ダウンロード PTF Ver.7.15 & Ver.7.15 SP2 For iSeries

本解説書は、ウィルココミュニティ・ウェブサイトよりダウンロードしたウィルコム呼称名「Ver. 7.15」及び「Ver. 7.15 SP2」の iSeries 側 PTF の適用手順について解説しています。CDROM からの PTF 適用手順につきましては、別マニュアルとなっていますので、ご注意ください。

ソフトウェア要件

PC	Windows2000
	WindowsXP
	Windows2003

iSeries	WilComm Ver.7.15
---------	------------------

iSeries PTF 適用手順

確認事項

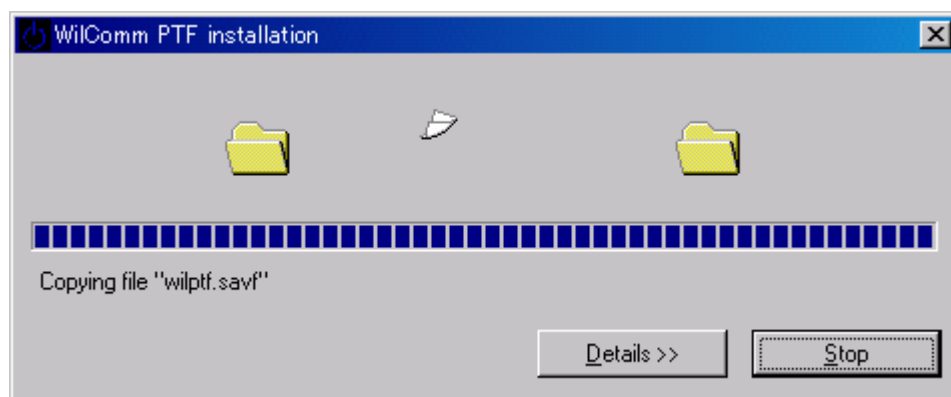
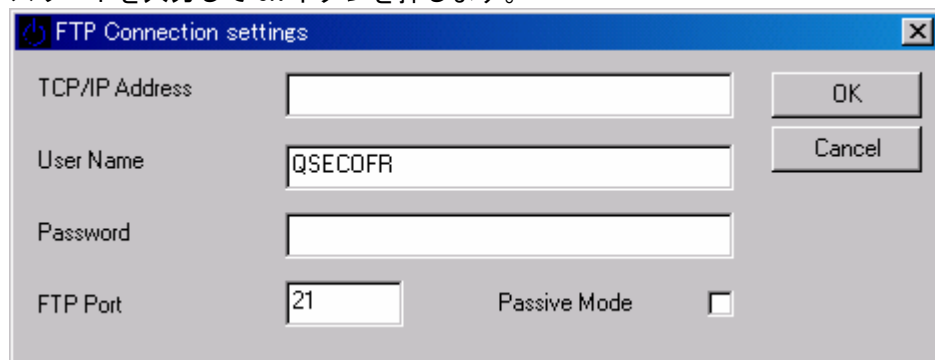
現在 WILPTF という名前のライブラリーが存在している場合、PTF 適用作業を行う前に削除するか、他の名前に変更して下さい。

PTF 適用時に WILPTFSV というライブラリーが作成されます。

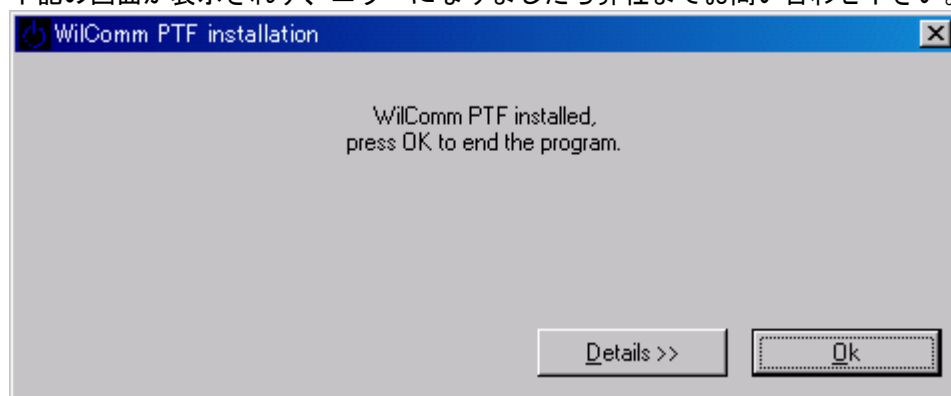
もし、現在 WILPTFSV という名前のライブラリーが存在している場合、PTF 適用作業を行う前に削除するか、他の名前に変更して下さい。

PC 側での作業

1. INSTFTP.EXE を実行します。
2. 下記の画面が表示されますので、TCP/IP Address に iSeries の IP アドレス、Password に QSECOFR のパスワードを入力して OK ボタンを押します。



3. 下記の画面が表示されましたら、OK ボタンを押して終了します。
下記の画面が表示されず、エラーになりましたら弊社までお問い合わせ下さい。



iSeries 側での作業

Step1. ユーザーQSECOFR でサインオンします。

以下のシステム値について、設定を確認します。

(システム値の変更は、他システムへの影響がないことをシステム管理者に確認してください。)

QALWOBJRST : 設定されている値を控えて、*ALL に設定します。

PTF の適用が終わったら元に戻して下さい。

QVIFYOBRST : 設定されている値を控えて、1 に設定します。

PTF の適用が終わったら元に戻して下さい。

(このシステム値は、OS のバージョンによっては、存在しない場合があります。)

Step2. WilComm の監視ジョブ (サブシステム) を停止します。

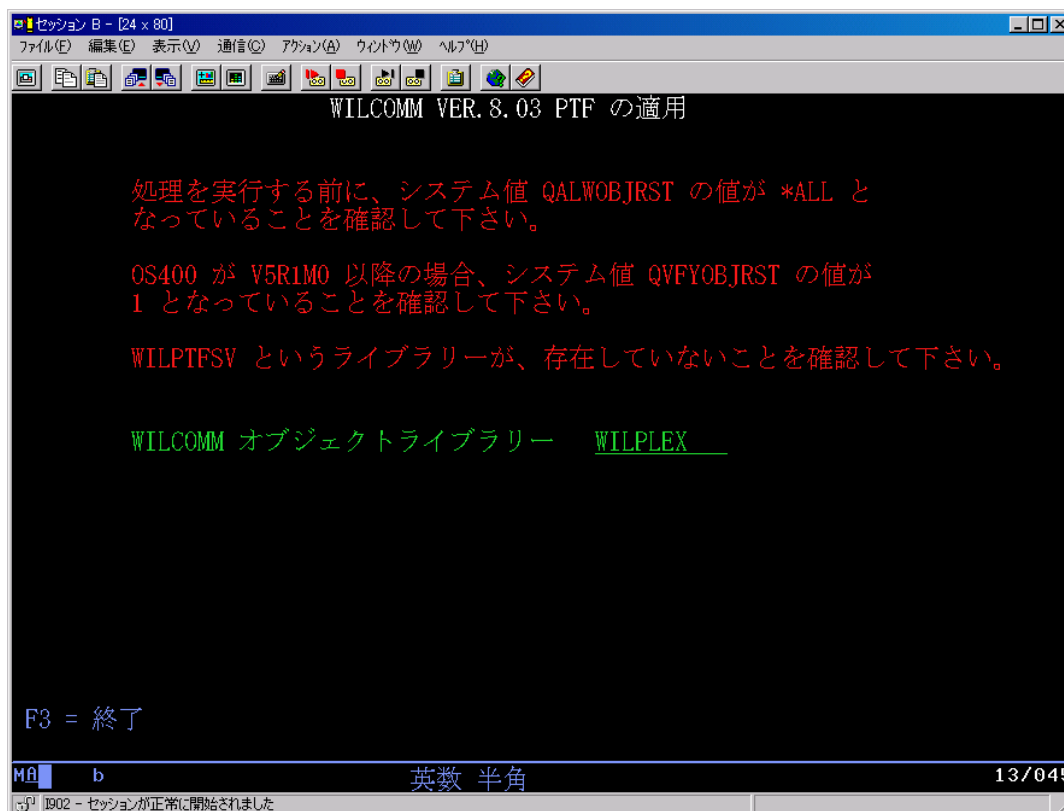
- ・ コマンドラインより GO WILPLEX/W を実行して WilComm のメニューを開きます。
- ・ コマンドラインに 60 を入力し実行します。
- ・ コマンドラインに 20 を入力して実行します。
- ・ 画面が表示されたら、実行キーを押します。

Step3. WilComm のメインメニューにある「2. メッセージ・リストの表示」を全ての端末で使用していない事を確認して下さい。

Step4. 以下のコマンドを実行して、ライブラリーリストに WILPTF ライブラリーを追加します。

ADDLIB WILPTF

Step5. コマンドラインから APYWILPTF コマンドを実行すると下記の画面が表示されます。



[WILCOMM オブジェクトライブラリー] には WilComm Ver7.15 が導入されたライブラリー名を指定します。
通常は **WILPLEX**（初期表示されている内容）を指定します。

実行キーを押しますと、PTF 適用処理が実施されます。

Step6. WilComm の監視ジョブ（サブシステム）を開始します。

以上で、WilComm iSeries の PTF 適用作業は終わりです。

PTF 適用により置き換えられた古いオブジェクトは、WILPTFSV というライブラリーに保管されています。
（PTF 適用後、何らかの不具合が発生した場合に、WILPTFSV にあるオブジェクトを元に戻すためです。）
PTF 適用後、特に問題がない場合は、ライブラリー WILPTFSV は不要ですので削除して下さい。